

➤ 虐待予防・発見チェックリスト

■ 本人の様子からのサイン

	体に小さな傷やあざなどがある。また理由を聞いてもはっきりしない。
	急におびえたり、おそろしがったりすることがある。
	高齢者の住居や部屋がきわめて非衛生的になっている。また異臭を放っている。
	衣服や下着、寝具などが汚れたままになっている。
	薬や届けられた物などが放置されている。
	無気力、あきらめ、投げやりな様子がみられる。
	不要または必要以上と思われる量の商品などを購入している。

■ 家族など養護者からのサイン

	高齢者に対して冷淡な態度や無関心な態度がみられる。
	高齢者の世話や介護に対する拒否的な発言がしばしばある。
	高齢者の健康や病気に関心がなく、医師への受診や入院のすすめを拒否する。

■ 地域で気づきやすいサイン

	自宅から高齢者や家族などの怒鳴り声や悲鳴、物が投げられる音などが聞こえる。
	草が生い茂り、ごみが放置されるなど、庭や家屋の手入れがされていない。
	郵便受けや玄関先が、新聞や郵便物でいっぱいになっている。
	高齢者が道路に座り込んでいたり、徘徊している姿がみられる。